



親子のキツネ（少路2丁目・豊中市史自然編より）



キノコ観察会（2006年に府から移管された島熊山緑地にて）

2012年度 第2回 自然学習講座

自然を守る市民参加はどこまで実現されたか

第2次豊中アジェンダ 21 No.35 で「キツネやタヌキなどの生息空間、希少植物の生息地を大切に、保全し続けよう」とあります。市内全域が市街化区域となっているわが町「とよなか」ですが、まだ奇跡的にキツネが生息していると考えられています。しかし、島熊山付近では自動車による死亡事例があとを絶たず、東泉丘では、キツネ巣穴を破壊してマンション開発がなされたりしています。豊中に棲息し続けている生き物たちの命を守り、共生する手立てはあるのでしょうか。国際条約や環境公益訴訟の視点から現状を学習し、自然環境の保全や生物多様性活動に生かせるかを考えます。

◆日時：2012年11月17日（土）14：00～16：00

◆場所：豊中市立中央公民館
（阪急曽根駅下車、東へ徒歩5分）

◆講師：大久保規子さん
（大阪大学大学院教授）

◆定員：40名 参加費：無料

◆その他：当日会場でも受付けます。保育はありません。
できるだけ公共交通機関をご利用ください。



◆申し込み・問い合わせ◆

とよなか市民環境会議アジェンダ 21 事務局
TEL：06-6863-8792
FAX：06-6863-8734
E-mail：ecoshimin@kmd.biglobe.ne.jp



主催：NPO 法人 とよなか市民環境会議アジェンダ 21 自然部会

この講座は、豊中市からの委託業務により実施します。